



平成19年3月6日

各位

会社名 株式会社CFSコーポレーション  
代表者 代表取締役会長兼社長 石田 健二  
(コード番号：8229 東証第1部)  
問合せ先 取締役経営企画室長 石田 岳彦  
電話番号 045-476-7474

平成19年2月期 通期 業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年10月5日付け「平成19年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成19年2月期通期（平成18年2月21日～平成19年2月20日）の業績予想を下記のとおり修正し、また下記のとおり特別損失が発生する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成19年2月期連結通期業績予想数値の修正（平成18年2月21日～平成19年2月20日）  
(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益 (注)
前回発表予想 (A) (平成18年10月5日 発表)	145,500	1,150	△1,200
今回修正予想 (B)	142,000	△50	△3,500
増減額 (B-A)	△3,500	△1,200	△2,300
増減率 (%)	△2.4	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成18年2月期)	145,881	2,155	1,025

(注) 当連結会計年度より「固定資産の減損に係る会計基準」を適用しております。

2. 平成19年2月期個別通期業績予想数値の修正（平成18年2月21日～平成19年2月20日）  
(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益 (注)
前回発表予想 (A) (平成18年10月5日 発表)	144,000	1,100	△1,200
今回修正予想 (B)	140,500	△100	△3,500
増減額 (B-A)	△3,500	△1,200	△2,300
増減率 (%)	△2.4	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成18年2月期)	144,481	2,079	998

(注) 当事業年度より「固定資産の減損に係る会計基準」を適用しております。

### 3. 通期業績予想の修正理由（連結・個別）

平成18年10月5日付け「平成19年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました。下半期においても企業間競争が激化するなかで、厳しい状況が続きました。第4四半期に入り、年間を通じ最大の需要が期待される年末年始商戦においても、暖冬等の影響を強く受けて季節商材を中心に売上が伸び悩み、売上高は大幅な計画未達となりました。このような状況において、当社は販売費及び一般管理費の削減を進めてまいりましたが、売上総利益の未達を補うにはいたりませんでした。

また調剤売上（非課税売上）の売上高に占める割合が高まったことにより、課税売上割合が95%未満となり、仕入等に係る消費税の一部を税額控除することができなくなったため、租税公課が前回予想よりも3億円程度増加する見通しであります。

特別損失においては、今期より「固定資産の減損に係る会計基準」を適用したことに伴い期初に減損損失を21億13百万円計上いたしました。今期の収益状況を踏まえ新たに減損処理することとなったため、減損損失が10億88百万円増加し、また次期において大型店舗の閉鎖を予定していることから、閉鎖に伴い予想される費用を閉店損失として5億20百万円計上することを見込んでいます。

これらの結果、連結業績の予想数値につきましては、連結売上高1,420億円、連結経常損失50百万円、連結当期純損失35億円にそれぞれ業績予想を修正するものであります。

個別業績の予想数値につきましても連結業績と同一要因により、売上高1,405億円、経常損失1億円、当期純損失35億円となる見込みであります。

### 4. 特別損失の発生とその見込み額（連結・個別）

3. 通期業績予想の修正理由において述べたとおり、減損損失が当初見通しよりも、10億88百万円増加し、また閉店損失を5億20百万円計上する見込みであります。

(注) この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上